

研究課題名	円錐角膜、強度乱視とペルーシド角膜変性症における角膜解析とコンタクトレンズ処方
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	角膜形状異常を有する患者さんにとって眼鏡矯正では良好な視力を得ることが困難です。その場合、ハードコンタクトレンズを処方して良好な視力を得ることができます。しかし、疾患により角膜形状は各々違い、特殊コンタクトを処方することが困難なことがしばしばみられます。当院には角膜形状解析装置があり、角膜の形状を詳しく調べることが可能です。患者さんの角膜形状の情報を解析することにより、今後より良いコンタクトレンズ処方が可能にするための研究です。
研究対象者	2018 年以降に府中アイセンターをコンタクトレンズ処方のために受診され治療を受けた既往のある方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 視力、矯正視力、角膜形状解析結果、波面センサー角膜収差解析結果、コンタクトレン ズ処方後視力結果
研究予定期間	機関の長の実施許可日 2025 年 2 月 18 日 ～ 2028 年 12 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は府中病院 眼科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	社会医療法人 生長会 府中病院 アイセンター（眼科） 氏名：下村嘉一
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先まで お申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	社会医療法人 生長会 府中病院 アイセンター（眼科） 氏名：立花都子 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-43-1234（代）